



|                          |       |
|--------------------------|-------|
| ブレ100周年 総会&リ・ユニオン開催のお知らせ | 2     |
| 同窓会活動のお知らせ               | 3     |
| 成人式祝い礼拝・茶話会報告            | 4     |
| 活躍するオビリンナー               | 4     |
| 広げようオビリンナーの輪             | 5     |
| 清水安三先生随筆／追悼              | 10・11 |
| 2021 総会&リ・ユニオン開催のお知らせ    | 12    |
| Information／編集後記         | 12    |



## おさそい プレ100周年 総会&リ・ユニオン

6月13日(土) 町田キャンパス 荊冠堂チャペルにて開催。詳細は次ページへ。

## 2020 還暦・古稀・喜寿・傘寿祝い礼拝 4月18日(土) 開催

今年度の対象の方にはハガキでお知らせいたします。当日お弁当の用意がございますので、必ず事前にお申込みください。  
詳細はウェブサイト、または同窓会事務局までお問い合わせください。

詳細は  
ウェブサイトへ





## プレ100周年 総会 & リ・ユニオン 開催のお知らせ

2021年にいよいよ創立100周年を迎える桜美林学園。同窓生の皆さまと来し方行く末に思いを馳せ、楽しいひとときを持ちたいと思います。ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます。

### ●日程・場所・お申し込み

日程：6月13日(土)

場所：町田キャンパス 荊冠堂チャペル

会費：3,000円

参加申込締切：5月22日(金)

※人数確認のため、ご出欠は同封のハガキにてお願いいたします。  
会費は当日受付にてお支払いください。

### ●当日のプログラム

|             |                      |
|-------------|----------------------|
| 10:00 開場・受付 | 11:15 徳増浩司氏・中野 圭氏講演会 |
| 10:30 礼拝    | 12:30 リ・ユニオン(懇親会)    |
| 10:45 総会    | 14:30 閉会             |

※プログラムの時間は変更になる場合がございます。

### ●出席予定の先生方 (敬称略50音順)

石川忠久 伊藤隆吉 大越 孝 小椋郊一 狩野 博  
神田道彦 河野 穰 小林 茂 桜井 萌 佐藤東洋士  
清水賢一 志村 望 新藤泰男 永瀬順弘 野中庸旦  
畑山浩昭 藤田慶喜 藤野英雄 三島次郎 光田明正

※学園敷地内は全面禁煙です。喫煙所はありません。

※当日は淵野辺駅よりスクールバスが運行しています。  
学園へのアクセスは、大学ウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.obirin.ac.jp/access/>

※同期会・クラス会・ゼミ・部活・サークルなどの集まりの同日開催を歓迎します。開催の際は、通信費の補助を行っていますので詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

※同窓会の主催行事の写真は、同窓会発行の印刷物で使用する場合があります。

### ●講演会のお知らせ



「ラグビーワールドカップ2019  
日本開催とその後」

講師：徳増浩司氏 (アジアラグビー協会名誉会長)

1952年和歌山県生まれ。国際基督教大学卒業。西日本新聞社に入社。記者として勤めた後2年間渡英。ウェールズのカーディフ教育大学でラグビーのコーチングを学び、ウェールズ協会公認コーチ資格を取得した。帰国後の1980年に英語教師として茗溪学園中学校高等学校に赴任。同学園の高校ラグビー部を全国大会優勝に導く。1995年から日本ラグビーフットボール協会勤務。ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐を務め、2019年のラグビーワールドカップの日本招致に貢献。現在はアジアラグビー協会名誉会長。桜美林高校ラグビー部の指導協力も行っている。



「弦楽器とデジタルファブリケーション」の演奏

講師：中野 圭氏 (大阪芸術大学准教授)

1973年東京都生まれ。1991年度桜美林高校卒業。桜美林高校時代は図書委員会や軽音楽部に在籍。外国語の選択授業を率先して受講していた。東京造形大学造形学部デザイン学科卒業。東京藝術大学芸術情報センター非常勤講師、大阪大学特任研究員を務める。町田市立国際版画美術館のハイビジョンホールでの作品展示、学生の展示における引率などにも尽力した。現在は大阪芸術大学芸術学部教養課程造形音楽分科会中野圭研究室准教授、国立研究開発法人産業技術総合研究所集積マイクロシステム研究センター客員研究員。セマンティックWEB技術を活用したオープンデータプロジェクトであるLODの日本の普及にも尽力し、LOD Challenge Japanにおけるビジュアルライゼーション部門の設立を提言、新設に尽力した。関西シュルレアリスム研究会、音響学会などへの論文発表、パリやモスクワなど海外の芸術機関から招待されたほか、弦楽器とデジタルファブリケーションの新作を発表演奏。「音」を使ったアートを通して芸術学会発表、特許出願なども行う。モスクワからミュージシャン招聘と大阪芸術大学の講演会とコンサート、台湾の演奏旅行も行うなど、多方面での活動を広げている。



### 子どもの成長に寄り添う幼児教育 ご紹介ください — 桜美林幼稚園 —

清水安三先生は、幼児教育について次の様に述べられています。「本学園が、幼稚園の

ために努力奮闘しているわけは、幼児教育なるものが、非常に大切なものであるためである。少々声を強めて言うならば、幼児教育なるものは、初等・中等教育、さては、高等教育にもまして教育上、より大切なものであるかも知れない。(中略) 幼稚園時代すなわち1歳から5歳までの幼児こそは、何れの年代の子どもよりも、より多く感化を受け易いわけである。そうと知れば、何人も何はさておいても、幼稚園時代の教育をば、大いに重んずることであろう」

現代の若者は「自己肯定感が低い」とわれています。幼稚園長を拝命して3年目を迎えましたが、家庭教育、幼児期の教育がその後の人生に大きく影響すると実感しています。

子どもは幼稚園で教職員の愛情に包まれ過ごすことで安心して成長していきます。整えられた環境で集中して遊びを繰り返します。現代社会は結果が求められますが、幼児期においては結果よりも過程が大切です。幼い頃から子ども自身が納得して、自分でできたという思いや経験が子どもを成長させます。子どもには子どもの持つ時間があり、その時間を大切にしながら幼稚園では一人ひとりの子どもの成長に寄り添っています。少子化の影響を最初に受けるのが幼稚園です。お近くに入園対象のお子さまがいらっしゃいましたら、是非ご紹介くださるようお願いいたします。 幼稚園園長 志村 望

詳細は  
ウェブサイトへ

# 同窓会活動のお知らせ

中高文化祭

2019.09.22

## オビリンググッズの販売をしました



今年も中高文化祭（第52回桜空祭）において、恒例となっているオビリンググッズの販売をしました。当日は天気にも恵まれ、多くのお客様が来場されました。グッズは実用的なものから、かわいらしいクマのぬいぐるみもあり、多くの来場者の方々にご購入いただきました。

今年も、大学の駅伝部が箱根の予選に出場するのでその告知を行ったところ、キサイサ選手の昨年までの活躍もあり、少しずつ認知されてきたようです。おかげさまで、売上金も昨年を上回って16万1,300円となりました。この売上金は全て学園に寄付しました。また、当日は中高PTAの役員の方々とは有意義な交流の時間を持つことができました。

大学祭

2019.10.26～27

## 2日にわたって同窓生をお迎えしました

今年は2日間同窓生をお出迎えいたしました。事務局にて来場者にお茶のサービスや、清水安三先生と郁子先生のパネルを入口に飾り記念撮影コーナーを設置しました。卒業生だけでなく、安三先生、郁子先生のことを知らない現役学生たちも積極的に記念撮影を行っておりました。前日の天気の影響からか、午前中は人の出が例年より少なかったようですが、午後からは多くの人が行き交うようになり、活気が出て来ました。室内では懐かしいアルバムを手にとられたり、同窓会だよりを読み直されたり、皆さんにゆっくりと過ごしていただけたと思います。2日間の開催で、例年より多くの方々にご利用いただきました。当日は、箱根駅伝の予選会が立川の昭和記念公園で行われており、



卒業生からの現地報告が大学祭の会場にも送られました。大学としては残念ながら、本戦出場はかないませんでしたが、本学グローバル・コミュニケーション学群4年のレダマ・キサイサ選手が3年連続一位の成績でゴールテープを切って桜美林の名を上げました。

大学ホームカミングデー

2019.12.01

## 新宿キャンパス見学報告

2019年12月1日（日）、新宿キャンパスにて大学ホームカミングデーが開催されました。新大久保駅からの喧騒を抜けて、静かな住宅地に入っていくと、新しいキャンパスの建物が見えてきました。校友会や学生に迎えられ、新キャンパスに入っていくと懐かしい顔も多く、会話が弾みました。ビジネスマネジメント学群のジェフリー・メンセンディーク牧師（チャプレン）による礼拝、佐藤理事長、畑山学長らのごあいさつなどをお聞きして、館内の見学もできました。本



のないデジタル図書館に卒業生も驚き、あらゆるところで大学生の勉強方法が昔とは変わっていて、桜美林大学の新宿キャンパスがその最前線であることを嬉しく思いました。その後、カフェテリアでの懇親会で楽しい一日となりました。

## 水田光夏さん パラリンピック内定

リベラルアーツ学群4年の水田光夏さんが、東京2020パラリンピック射撃日本代表に内定。とても嬉しいニュースでした。皆さんもぜひ、パラリンピックで水田さんを応援しましょう！





## Congratulations! 新成人の皆さんおめでとうございます



### ＼ 平成28年度卒業生成人式実行委員長を務めて /

2 2020年1月13日に、69期生の成人式を行いました。当日は天候にも恵まれ、華々しく成人の日を祝うことができました。チャペルでの成人祝福礼拝では、約200人の卒業生や過去最大人数のご両親、お世話になった先生方にご参列いただきました。堂本チャプレンによる説教は「希望と確信」という題でした。これから私たちが社会の一員として活躍していく上で、支えとなるようなメッセージを頂きました。

「これからの時代にはAIがますます私たちの社会に進出してくると思われる。AIが示す、一つの正解が存在する社会の中で私たちはあえて間違いを選ぶことができる、その能力こそが私たちが人間たらしめる力である。」

礼拝の後は、大越先生や佐竹先生からのお祝いの言葉を頂き、先生方と過ごした高校時代を懐かしみながら、成人した実感を

噛みしめました。続いて桜カフェで行われた茶話会では、同窓会のご厚意で用意して下さった軽食を頂きつつ、友人たちや先生方との談笑に花を咲かせ、大変楽しい時間を過ごすことができました。仲間との再会の興奮も冷めやらぬまま大盛況のうちに成人式は終わりました。式を通して高校時代の友人や、先生方との繋がりの大切さを再確認しました。そうした繋がりは一生物です。人と人との繋がりを、これまでもこれからも大切にしていきたい、と思えた成人式になりました。こうして成人式が開催できたのも、ご協力頂いた先生方、同窓会の方々、そして卒業生のご両親や、卒業生の皆さんのおかげです。素晴らしい式で成人の門出を祝えたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

和久田大翔／17高校卒



### 活躍するオビリンナー

#### 石川祐司さん (写真左)

2017年度リベラルアーツ学群卒業。メーカーズシャツ鎌倉宣伝モデル。国際空手道連盟極真会館米国代表選手、スカイ保育園教員。



### 教育とファッションを通じ日米の架け橋に

大学時代は国際協力の研究と、空手道の稽古に邁進された石川祐司さん。現在は日本のモノづくりに貢献することを仕事としつつ、極真空手の米国代表選手として選手生活を送りながら、青少年育成を目的とした空手教室で指導員としても活躍されています。2019年にはInternational Karate Championship All-American Open Tournamentで5位に入賞。文武両道を体現する石川さんの活躍に、今後ご期待ください。



# 広げようオビリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会の活動をお知らせします

詳細は  
ウェブサイトへ



## 横浜支部

2019.09.07

支部会

### 第12回 横浜リ・ユニオン



今年で12回目を迎えた「横浜リ・ユニオン」、総勢40名の参加となりました。参加者は本年度卒業の新社会人1年生から御歳85歳の方まで幅広い世代の方々にご参集頂きました。また千葉支部や北海道支部からもご参加頂き、大変にぎやかに開催できました。各々の学園での出来事など楽しく拝聴でき、学園からも新宿キャンパスの様子や、来年度の東京ひなたやまキャンパスの開設や、新たな取組みとしての校友会などさまざまな施策を知ることができました。来るべき学園創立100周年に向け、同窓会がますます盛り上がるよう微力ながらお手伝いしたいと思える「横浜リ・ユニオン」でした。 堀井雅幸／91大商卒



## 北海道支部

2019.10.05

支部会

### 第10回 北海道リ・ユニオン

『共にはげましあい、母校の発展と相互の交流に寄与し得る会をなんとしても足踏させたい……』38年前、1981年に第1回の北海道同窓会を発会した案内の一文です。過去の先輩達の熱意に敬意と感謝を込め、第10回北海道リ・ユニオンを開催、長谷川同窓会長より北海道支部旗を拝受しました。38年の想いに涙ぐむ同窓生や今後の支部活動に期待と継続をもたらすようにと会場は拍手となりました。懇親パーティーでは、北海道支部38年の歩みと題した上映会を行い、当時のエピソードなど、ディスカッションで盛り上がりしました。またリ・ユニオンにご参加いただいた同窓生に、同窓生同士のツールとして、「会員証」を作成して配布いたしました。

今後のリ・ユニオンに活用してもらえれば幸いです。最後に来賓の方々に深く感謝し報告とさせていただきます。 支部長 矢吹光弘／83大英卒



#### 第11回 北海道リ・ユニオン開催予告

日程：10月3日（土） 場所：札幌市内

奮ってご参加ください。詳細はウェブサイトをご覧ください。



## 広島支部

2019.10.19

支部会

### 第3回 広島リ・ユニオン



卒業してから50年、退職してから12年、そして同窓会への参加は10年ぶりでした。1週間前の東日本を縦断した台風19号により多大な被害が出たにもかかわらず、東京より800km以上離れた福山市まで、桜美林学園より同級生の大越 孝中高校長、および後藤彰宏総務部長ほか2名の方が、同窓会本部より海藤嘉郎副会長ほか2名の方にご出席いただき、短い間でしたが楽しい楽しい時間を過ごすことができました。私にとっては、息子のような年齢の方もおられたなか、同じ学園で学んだもの同士、すぐに打ち解け楽しい時間を過ごすことができました。

2021年に桜美林学園が創立100年を迎えるので、その年に広島支部で第4回目の支部リ・ユニオンを開催することになりました。多くの同窓生に参加し、欲しいと思います。 砂田輝則／69大英卒





## 支部会

## 大阪・兵庫支部

2019.10.26

## 大阪・兵庫合同リ・ユニオン



大阪支部は2010年2月に矢崎邦彦さん（58短英卒）の尽力により発足しました。同窓会本部の協力のもと、年1回の支部会を楽しみに参加して下さる会員の皆さんと幹事たちでこの10年を繋いできました。今回10周年を迎えるにあたり特別ゲストとして、小林 茂牧師とその奥様で寮舎監をされていた順子先生をお招きしました。小林牧師より清水安三・郁子先生の当時のエピソードをお聞きし、親しみを持って回想することができました。またかつての寮生より順子先生は寮生たちの強くも優しいもう一人の“お母さま”であったとのお話もありました。更に申ヒョンソク牧師（桜美林で聖書と韓国語の教師をされていた）の力強い黒人霊歌独唱、中・高・大学時代のさまざまな思い出話や現在の活動・仕事のことを語られた方など今回は10周年にふさわしい多彩な催しになりました。2年前から主に大阪支部主体で兵庫支部と合同に開催してまいりましたが、これからは1年交代で開催したいと願っています。毎回幅広い世代の方が集い、学んだ思い出を共有し繋がる温かい会です。まだ参加されていない方もぜひ次回はお気軽にお出かけください。

水野真理／68短家卒



## 支部会

## 宮城支部

2019.11.09

## 第3回 宮城リ・ユニオン

東日本大震災後に開催された東北地区での同窓会を機に発足した宮城支部。第3回支部リ・ユニオンは、仙台市郊外広瀬川沿いの芋煮会場で開催されました。当日は、午前10時、七十七銀行本店前に学園からの大越中学・高等学校長を含めた同窓生総勢10名が集合。マイクロバスに揺られること約30分で現地に到着しました。

早速芋煮用の火おこしから開始、ようやく火が落ち着いたところで乾杯となりました。その後は各自持ち寄ったビール、地酒を飲みながら牛タン、いぶりがっこなどを食しつつ、数十年前の本学での思い出や近況を語り合い、時々薪の火加減を調整しながら親交を温めました。会も佳境に入った頃、宮城風芋煮（味噌ベース、豚肉、じゃが芋入り）と山形風（醤油ベース、牛肉、里芋入り）の食べ比べで暖を取り、河原での学園歌斉唱でお開きとなりました。芋煮会での支部リ・ユニオンは2回目でしたが、なかなか好評につき、来年は本支部主催「桜美林大芋煮会」を開催することになりました。全国の本学関係者（卒業生、在校生、そのご家族）の皆さまの多くのご参加を心よりお待ちしております。

大森裕昭／85大経卒



## 支部会

## 沖縄支部

2019.11.16

## 第17回 沖縄リ・ユニオン



那覇市の居酒屋一鮮満において、多数の学園関係の方にも参加いただいて、第17回の沖縄リ・ユニオンを開催いたしました。冒頭開会の挨拶で、首里城の焼失の件に触れ、全員で早期の復興を願いました。

今回も参加いただいた佐藤東洋士理事長に続き、畑山浩昭学長、海藤嘉郎同窓会副会長にごあいさつをいただき、沖縄式の乾杯である『カレー』の発声で会をスタートしました。参加者1人ひとりの近況報告もあり、大変盛り上がりしました。最後に、また来年の再会を約束して閉会いたしました。2020年、更に多くの同窓生の皆さまにお集まりいただけますよう、お待ちしております。

支部長 新城昭二／80大経卒





## 支部会

## 相模原支部

2019.11.24

## 第7回 相模原リ・ユニオン

前日までは危ぶまれていた天候も晴れ、暑いくらいの陽気になった11月24日、第7回相模原リ・ユニオンが開かれました。そう言えば「今日の天気が良いのは、皆が親孝行だからだ」と安三先生が、運動会などの際のあいさつでよくおっしゃっていたのを思い出しました。前回参加した時には佐藤誠一郎さんや岩井清治先生もいらしていたのに、と淋しい思いもありましたが、岩井先生の奥様とお仲間のハーモニカ演奏を楽しむことができました。いろいろな種類のハーモニカが奏でる深い音色が心地よく響きました。懐かしいばかりではなく、新宿にできた新しい校舎や入学志願者の動向、部活動の活躍など現在の学園の様子も知ることができました。いろ



いろと準備をしてくださった方々には感謝です。同級生だけではなく、なかなか会えない先生や先輩、後輩に会えるよい機会だと思います。これを読んでくださっている皆さん、最寄りの支部会に参加してみたいかがでしょう。

高垣みぎわ／73高校卒



## クラブ活動OB会を開催しました

## OB会

## 高校ラグビー部

2019.07.21

## 交流会のご報告

今回は10名の若手OBと原会長（S41卒）以下5名のナイスミドル(?) OBが参加し、現役部員30名、女子マネージャー10名と交流しました。そして特別コーチを茗溪学園を率いて花園優勝の経験をお持ちの徳増浩司さんをお願いし、指導のもと合同練習を行いました。若手OBが練習台、盛り上げ役となり、活気ある練習となりました。徳増コーチからは「素晴らしいOBのみなさんで、現役部員にはとてもいい経験」と仰っていただきました。その後15分×2のOB対現役の試合が行われました。OBチームにはなんと原会長の姿が。この日のためにトレーニングに励まれたとのこと。試合は成蹊大学ラグビー部で活躍中の能瀬選手（H29卒）がトライをあげるなど、序盤はOBチーム優勢でしたが、スピードとスタミナで勝る現役チームがトライを重ねて勝利。現役チームの丹副主将と島田選手が優秀選手賞を獲得しました。OBの部への愛情が現役選手を支え、励みにもつながります。次回の交流会は3月頃を予定しています。OBの皆さん、是非グラウンドに足を運んでください。そしてアフターマッチファンクションは夜の淵野辺へ。

青木竜馬／82高校卒



## OB会

## 石井 敏ゼミ

2019.09.14

## OB総会「石狩会」



秋晴れの中、新宿ワシントンホテルにて「石狩会」が開催されました。当日は1期生から22期生、総勢43名が集いました。石井先生を慕って北は新潟、南は宮崎、そしてシンガポールからの参加もありました。開会のあいさつの後、来年喜寿を迎えられる先生へ紫のちゃんちゃんこが贈られ着ていただきました。先生は毎朝10キロのウォーキングを続けていて、去年は四国遍路旅やサンティアゴ巡礼旅を独歩。今年は奥の細道旅を計画されているそうです（一同先生の気力体力に脱帽!）。各テーブルでは先生を囲み、学祭での石狩亭やゼミ合宿、スキー合宿などなど昔話で盛り上がり、あっという間のひとときでした。さて、石狩会のメンバーには他ゼミの方も何人かいらっしゃいます。今回幹事をお引き受けくださった方々も実はゼミ生ではないとのこと。これも先生が広く学生から慕われている証でしょう。幹事の皆さん御尽力に感謝いたします。ありがとうございました。次回の開催を楽しみにしています。

飯島 操／84大商卒



## 同窓会・クラス会を開催しました

同窓会

### 1965年度高校卒業 3年B組クラス会

2019.10.06

第17回卒業3年B組のクラス会を、ホテル横浜キャメロットジャパンで開きました。最上階（14階）の広々とした宴会場で、外の景色も見渡せてとても気持ちのよい空間でした。すみにあるテーブルにタバコを吸う方用の灰皿が置かれていましたが、部屋が広いので煙はまったく気になりませんでした。大分県臼杵市から来て下さった担任の神志名（坂本）先生には皆本当に感謝しています。お元気なお姿、今も勉強を続けていらっしゃるお話を聞き、こちらも頑張らなければと思いました。数人亡くなられた方、連絡がとれない方がいらして寂しいですが、今回は先生を含めて19名集まりました。とにかく楽しい和やかな時間をもてました。皆、高校の時と同じ顔で「また次回ね!」と言って別れました。次回は2年後の予定です。

杉原久美子／67短英卒



同窓会

### 1967年度高校卒業同窓会

2019.10.13



雨にも負けず。風にも負けず。そして台風にも負けず——。昭和42年度桜美林高校卒業生49人が集った。70歳、古稀の同窓会。激動の昭和を駆け抜けてきた仲間が、懐かしの学び舎に帰ってきた。恩師の柴適先生、近藤幸先生、近藤雅子先生、桜井萌先生も駆けつけてくれた。感動の再会。涙ぐみ、お互いの肩をたたきあい、そして握手と抱擁。髪が薄くなり、白髪頭になった仲間の心は、すぐに50年前のあの頃に戻っていた。思い出話に花が咲いた。北海道の修学旅行、辛かった復活の丘マラソン、そして眠気に負けそうになった礼拝。楽しかったこと。悲しかったこと。同じ時間を共にした同級生たちの笑顔の輪がいくつもできていた。最後に、全員が肩を組みあって校歌斉唱。次はいつ会えるのだろう。5年後か、7年後か。その時は今日ここに集った全員で迎えたい。みんなの目の輝きを見ると、その願いは必ず実現できそうだ。 青木弥寿光／67高校卒



同窓会

### 1987年度高校卒業同窓会

2019.10.20

六本木のCEDAR THE CHOP HOUSE & BARにて約10年ぶりに39期生の同窓会を行いました。藤崎先生、清水先生、須崎先生の3名の先生方もご参加くださいました（野中先生が急用で不参加になってしまったことが非常に残念でした）。今年は、みんなそれぞれが50歳になる年です。我々が高校生だった頃…多くの学びをいただき、また多くの叱咤激励と共にご指導をいただいていた先生方は、今の我々の年齢よりもきっと若かったのだらうと思うと、50歳になって再会する先生方がより近い存在に思えたり、やはりいくつになっても高校生の時と同じ気持ちで接していたり…と各自さまざまな思いを寄せながら、時間を過ごすことが出来ました。閉会



時に「10年後、我々が60歳になる時には、また必ず同窓会をやることを約束します」と伝えると、「それじゃ先過ぎる。5年以内に」と多数の声が！ 同窓会がみんなにとって大切な時間であったことの証かと思い、感慨無量でした。 幹事 安田 隆／87高校卒





## 同窓会

## 1984年度中学卒業同窓会

2019.11.03

私たちが中学生の時は、1学年2クラスで90名程度と人数が多くなく、学年全員の顔と名前が一致していたと思います。現在海外で暮らしていらっしゃる当時3年B組担任だった山本先生から同窓会開催の提案があり、先生の帰国時に合わせて同窓会を開こうということになりました。そして会場も懐かしい学内で、中学ではありませんが桜力フェで行うこととなりました。A組担任の高石先生をお迎えし、20名弱の卒業生が集まりました。ただ、残念だったのは山本先生はお仕事の関係で帰国の時期が合わなくなり、お会いできませんでした。会は幹事の開会の発声に始まり、参加した方々の近況報告がありました。遠くは関西から来られた方もおりうれしく思いました。卒業から30数年が経過しておりますが、心は中学時代にタイムスリップし、楽しいひと時を過ごすことができました。学校を離れそれぞれの道を進んでいる私たちですが、そう遠くないうちに、再会できればと思っています。 吉永 晋／87高校卒



## 同窓会

## 楽乎の会 中文科恒例大新年会開催

2020.01.12



新宿において、「楽乎の会 中文科恒例大新年会」を行いました。この同窓会は毎年2回行っており、毎回とても楽しみにしています。石川先生、植田先生もご参加下さり、今年は中文科1期生から23期生まで幅広くまた、宮城、群馬、三重など遠方からも集まり総勢40人。改めて中文科の結束力の強さを実感しました。先生方が、即興で漢詩を書いて下さりじゃんけん勝った人が持ち帰るという企画を毎回行っていて（残念ながら私はまだ一枚も頂いてないのですが…）とても盛り上がります。そのような企画も中文科ならではのなごしみ感じます。大人になり忙しく生活している毎日ですが、学年が違っても同じキャンパスで過ごした方々と会えるこの時間は、私にとって学生の頃を思い出させてくれる温かく幸せな時間です。いつも幹事をして下さっている先輩方、本当にありがとうございます。そして中文科で良かったなとつくづく思っています。

小川智美／90大中卒



## NEWS

## 滋賀の中学生との交流会

桜美林中学校

2019.07.29

清水安三先生の生誕の地、高島市では郷土の偉人を学生にも知ってもらおうとさまざまな活動をしています。そして、市内6つの中学校から代表生徒14名と市の教育長をはじめとする先生方10名が学園を訪問され、本校の中学生との交流会を行いました。まずは桜美林教会と石ころ庵の見学、そして佐藤理事長を訪問されました。理事長と和やかな交流の後、同窓会の案内で学園めぐりを行い、中学校へ到着すると桜美林中学校生徒会が出迎えをしました。老实館でともに昼食をとり、初対面ですが生徒同士の話もできました。午後は、高島市の中学生による学校や高島市の紹介を行いました。高島市の歴史、文化、学校で大切にしている行事など、桜美林の生徒にとっては珍しい話でした。続いて本校の生徒が質問に答えたり、校歌を歌ったりして桜美林を知ってもらいました。

最後は全員で「琵琶湖周航の歌」の大合唱になりました。その後、バレーボール部、バスケットボール部、美術部、それぞれの活動に参加して交流を行いました。高島市の生徒にとっては、東京に総合学園を設立した偉人であり、平和と教育のために尽力した清水安三先生の足跡を訪ね、桜美林中学校の生徒とも温かな交流の場を持ち、充実した1日になったようです。また、本校の生徒にとっても改めて清水安三先生の偉大さに触れるよい機会になりました。 中学教頭 首藤元彰





# 清水安三先生随筆 「基督教世界」

大正12年（1923年）11月1日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに改めました。

小林茂／51高校卒



## 焼跡からの掘出物

清水安三

### その一

本所は横網町といえ、被服廠直ぐ側の横町である。その横町の中程に努さんのお家があった。努さん家はお母様お父様、弟二人それから一人の妹、合計六人家族で、努さんが一番の年長で今年取って十六、三中（東京府立第三中学——現在の東京都立両国高等学校）の三年生、弟は十三に九つ、妹は四つだった。努さん達も一度は無論被服廠中へ逃げた。が、火の粉は霰のように飛び来る。煙が吹き込めば眼をあけてることが能きぬ。濡手拭を口にあててるものでも、咽喉がからからになる。被服廠は一万二千坪の広場である。これ又広ければまさかと思うものは、努さん達ばかりではなかった。何

万という大勢の人達が煙にむせび乍らも、ぐっと堪えて居ったのである。が、努さんのお母様は何となく心配で、最初から「どっか遠くの方へ逃げよう。逃げましようよ」と言い言い具図ついて居った。

「こういう時こそ祈らねならぬ」と言い出したのは、さすが日曜学校で書記事務取扱を仰せつかつてる努さんの主張であった。他の人達は只もう、わけもなくわいわい言ってる丈であったが、努さんは静かに跪いて、主を神よと祈り出した。何時も耶穌教を馬鹿にし切って居るお父様までも、そつと頭を下げて目を瞑って聞いていた。折柄飛んで来た火の粉がお母様の黒髪の上に落つちたから溜らない。

「あつゝ、あつゝ、あつゝ」努さん達はお祈りをそのままにして置いてお母

様の頭の小火をもみ消したのである。

「おつと熱いことだった。」

「努、てめいが御祈禱など上げてるものだから：」丸で努さんがお母様の髪に火を着けたかのように怒鳴られた。

「父さん、逃げよう。ここは駄目だ。逃げなければならぬ。」

祈ることを知るものは、働くことを忘れぬ。努君自らは妹を負んぶした。お父さんもその上の弟を背負った。ごつた返して居る被服廠を逃げ出して、吾妻橋めがけて走った。六人の者が三組に別れはぐれて、吾妻橋に辿りついた時は、日はとつぷり暮、へとへとに疲れはてた。それでも吾妻橋で落ち合うことができた時は、本当に嬉しかった。お母様は妹を抱きしめて涙組んでいた。もう橋は渡して呉れない。川べりに行つてお父様、努君も途方に暮れた。火の粉は遠慮会釈なく飛び散る。努君は弟と妹とお母さんに毛布をかぶせて暫らくでも生き延びようとした。間もなくお父様が肩に火傷をした。お父様も濡れた毛布の中へ藻繰込んだ。努君は猶も勇敢に毛布に水注ぐことを怠らなかつた。毛布は見る見る乾いて仕舞う。毛布の中にうずくまってるお父さんは、弟だの、お母さんに言い聞かせた。

「もう、これまでだ。死ぬのなら一緒に死ぬがよい。こうして」お母さんも

弟も覚悟きめていたそうである。

「努兄さんも、もうよして：この毛布の下に這入たらどう：」

弟もお父さんも交々叫ぶのであったが、努さんはもう一生懸命だった。すると風向が少し変つたようである。努君は毛布を引めくつて、

「さあ、逃げましょう。大丈夫だ。」叫ぶと共に、気落せる父母を励ました。ビショ濡になれる六人の親子は、川岸に沿うて逃げ走った。

「もう、あたしは走れませぬ」

「お母さん、元氣出して頂戴」

努君は妹を背負った上に、母を手引し乍ら走るのであった。亀戸まで辿り着いた時、彼は夜が明けた。もう大丈夫という頃真赤の太陽が東の空から昇り出た。そうしてその日のお日様は古より励みたる者のみ天国を獲たり：

と叫んでいらつしやるように見えたそうである。被服廠にじつとしゃがんで居った者達は皆な死んで仕舞うた。が、客みなく

労して努力したもののみ逃げ了せることができた。

### その二

神田から飯田町に進んだ焰も九段の阪はよう這い上らなかつたのであるが、火事は市ヶ谷の方面から富士見町を焼いて、麴町に襲い来った。彼処には英語で建った斉藤秀三郎氏邸佐原何とか





## 追悼 高橋幸枝先生を偲んで

木村智次  
桜美林教会牧師・桜美林中高聖書科講師

私が高橋先生とお会いしたのは、4年前に「私が召されたら、葬儀は桜美林教会の牧師にお願いしたい」とのご依頼を受けたのがきっかけでした。お会いした時は、ご高齢にもかかわらず、自室がある3階までの階段をご自分の足で上り下りされ、お話しをしても記憶力は抜群で、私の方が励まされる思いがしました。高橋先生は、著書の『小さなことの積み重ね』で、ご自身の人生を振り返り、「神様は私の数々の挑戦を見守って下さっているように思うことはたびたびありました」と記しておられます。103年に及ぶ人生の中では、様々な困難を経験されたはずですが。しかし高橋先生は、安三先生も愛された「希望を失わず」という聖書の言葉を心に留め、「神様は常に見守って下さっている」と確信され、その生涯を全うされました。私たちも、高橋先生の生き様を通して、希望を失わないことの大切さを受けとめてまいりたいと願ってやみません。

※同窓会だより193号に特集『秦野の梅ちゃん先生』掲載

高橋幸枝先生 1916年11月2日新潟県生まれ。北京で清水安三先生のもとで秘書として働く中で、医者になるようすめられ、帰国。福島県立女子医学専門学校卒業後、新潟県立高田中央病院に勤務。1953年には桜美林学園内に診療所を開設。1966年に秦野病院を開院し、院長に就任。その後、医療法人社団秦和会理事長、社会福祉法人成和会理事長を歴任。『小さなことの積み重ね』、『こころの匙加減』など著書多数。2020年1月16日、103歳で召天。

## ご逝去された方々 謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略 ( )内は旧姓 [ ]内は逝去年月

|              |               |
|--------------|---------------|
| 本田栄一前中学高等学校長 | 〔20.02〕       |
| 熨斗隆文専任教授     | 〔10.〕         |
| 高橋幸枝先生       | 〔20.01〕       |
| 上領頼康         | 67 高校卒        |
| 菅野博秋         | 67 高校卒        |
| 野瀬(森)みどり     | 69 大英卒〔19.06〕 |
| 福島和伸         | 71 大中卒〔19.04〕 |
| 星野文孝         | 91 大経卒〔19.08〕 |
| 市川(小宮)富士江    | 76 大英卒〔19.07〕 |
| 小泉(一條)頼子     | 54 短英卒        |
| 丹 誠          | 51 短英卒〔19.08〕 |
| 辻 みゆき        | 88 高校卒〔17.08〕 |
| 金沢 潔         | 50 中学卒        |
| 梶山秀樹         | 77 大経卒〔14.03〕 |
| 伊原木綿子        | 86 短英卒〔19.03〕 |
| 金子(小泉)よし子    | 51 高校卒〔19.10〕 |
| 鈴木(藤栄)美佐子    | 68 短家卒        |
| 服部清志         | 57 短英卒〔19.〕   |
| 渡辺(遠藤)ひで子    | 60 短英卒〔19.08〕 |
| 黒島(小林)清子     | 64 短英卒〔19.03〕 |
| 助川(鈴木)美子     | 74 短英卒〔19.06〕 |
| 鶴田多喜子        | 77 大英卒〔19.11〕 |

の大名屋敷、あるある大きな邸宅が幾つもある。添田博士は己れの家焼くまいと早速、警察に願出でた。

「麹町一番町、あそここの赤いポストの建物の建てる町角に、レストランがある。その前の蕎麦屋には井戸が二つある。でその井戸を用いて、あのレストランで炎を喰い止めて貰いたい。」

博士の顔面筋肉は思い切って緊張して居る。

「……」

「火はもう死火です。死火で焼くのは残念ですから、どうかやって貰いたい。」

博士は警官の返答を待つて居る。

「へへえ、この火が消えますものです

かい。もうこうなれば手も足も着けられませぬ。」

博士は立ち上った。

「では私共に委して貰うとしよう」

「……やれたらやって御覧なさい、へえ……」

博士は自らワイシャツ一枚になって、一番町、二番、三番、四番町皆、男は馬穴を持って集まることを、勧誘し歩いた。そうして井戸の水を汲むもの、水を運ぶもの、洋服の上から水をかぶって、屋根に上るもの等して、レストランを焼くまいと必死になった。

火は死に火である。風も逆に吹いて居る。少し努力すれば喰い止め得るも

のであった。かくしてレストランを半焼したばかりで、一番町、二番町皆無事であった。九月六日私はあそこに住む級友K牧師を訪うた。Kの家は焼けてるものと信じ乍ら行ったのである。ところがKの町は元の儘、びくともして居らぬ。焼野原の中に青い鳥のように残されてあった。

——天災々々と謂うて、天にばかり禍の責めを負わせる。が果して天だけの罪だろうか。半分位人間の努力の足りなかった処は無かつたらうか。

## その三

横浜のある教会堂の屋根の上に大工が乗っていた。屋根を修理して居った

のである。すると九月一日、ごうとやって来た。その時大工は屋根に突立って居る十字架にしがみついた。

会堂はぱったりと倒れたが、偶然にも十字架の柱はびくともしないで建っていた。文字通りに十字架にしがみ着いていたばかりに、大工に怪我もなく、空中に残された。大工は死んだらうと、牧師が捜して居るのを瞰下し乍ら、彼は空高く十字架にへばり着いていた。

「先生、ここに居ます。」

「おー」

——エホバは我避所なりき——

本当に文字通りだったと。



## INFORMATION

### これからの行事予定

2020 ＊印は同窓会主催。詳細はそれぞれのウェブサイトまで。

|                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| 東京ひなたやまキャンパスオープン<br>(芸術文化学群が移転) | 4月       |
| 還暦・古稀・喜寿・傘寿祝い礼拝＊                | 4月18日(土) |
| 2020 総会 & リ・ユニオン＊               | 6月13日(土) |
| 横浜リ・ユニオン＊                       | 9月5日(土)  |
| 北海道リ・ユニオン＊                      | 10月3日(土) |
| 宮城リ・ユニオン＊                       | 11月7日(土) |

### 会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしており、会員名簿の発行は1996年に作成したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過去に発行した同窓会会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意ください。第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

### 感謝の誌代 敬称略

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 鈴木 孝／50 中学卒     | 5,000 円  |
| 山田豊幸／60 高校卒     | 5,000 円  |
| (株)ナルド 相談役 秋山孝明 | 10,000 円 |
| 藤田ナツ子／59 短家卒    | 15,000 円 |



### 2021 総会 & リ・ユニオン 予告 “100周年を祝おう!”

2021年のリ・ユニオンは、同窓生の皆さまと共に学園創立100周年を祝う会にすべく準備を進めております。万障お繰り合わせの上、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

#### 日程・会場

日程：2021年5月29日(土)  
会場：帝国ホテル 東京

詳細は順次同窓会ウェブサイトにてご案内する予定です。

### 特別会費納入のお願い

同窓会では会費納入規程第4条に基づき、学園をご卒業後10年、20年、30年の同窓生に各5,000円もしくは初回時(卒業後10年)に永年会費として10,000円の納入をお願いしております。皆さまからお預かりした特別会費は「同窓会だより」の発行や同窓会の諸活動、また学園支援に幅広く活用させていただいております。今後もさらなる同窓会発展のために努力してまいりますので何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### 特別会費納入対象卒業年度

●1989年度卒業生 ●1999年度卒業生 ●2009年度卒業生

※卒業年度は会員番号上2桁でご確認ください。

※会員番号は宛名ラベルのお名前の下に8桁の数字とアルファベットで記載しています。

#### 送金方法

●銀行振込／三菱UFJ銀行 町田支店 普通 口座番号：4591073

口座名義：特別会費 桜美林学園同窓会 代表者 長谷川哲雄

※振込依頼者の後に会員番号を追記してください。携帯からの送金など追記できない場合は不要です。

### 特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

|              |               |
|--------------|---------------|
| 長谷川由利／88 高校卒 | 渡邊健二郎／03 大BM卒 |
| 河本真治／88 大経卒  | 林 林／05 大経卒    |

### 事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧にならない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

ウェブサイト／<https://www.obirin.jp/alumni>

メールでのお問い合わせ／[alumni@obirin.ac.jp](mailto:alumni@obirin.ac.jp)

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632



### 編集後記

新たな芽吹きと繁栄の始まりといわれている庚子の年。桜美林は昨年新宿キャンパスが開校、本年東京ひなたやまキャンパスがオープン。そして東京オリンピックには我が校の水田光夏さんが出場。さらに来年2021年には、崇貞学園創設から100周年を迎えます。文明・文化同様、桜美林もさらに発展を遂げています。同窓生が10万人を超えた今、同窓会も皆さまと共に新たなステージへ歩んでいきたいと思ひます。ぜひ6月13日のプレ100周年リ・ユニオンでお会いしましょう。いつもご清覧ありがとうございます。広報委員長 井伊公友